四国アライアンス
N E W S　R E L E A S E

２０２６年１１月１１日
株式会社 阿波銀行

四国アライアンス発足１０周年のご報告
～地域とともに歩んだ１０年、四国の未来に向けた次の一歩へ～

阿波銀行（頭取 福永丈久）、百十四銀行（頭取 森匡史）、伊予銀行（頭取 佐賀山隆）、および四国銀行（頭取 小林達司）は、２０１６年１１月の「四国アライアンス」発足から１０周年を迎えました。

四国アライアンスとは、４行が経営の独立性と健全な競争関係を維持しながら連携する、四国創生に向けた包括提携です。この１０年間で連携による取組みは１３０件を超え、四国アライアンスキャピタルを通じた地域企業の事業承継・再生支援では４２社に対し、累計７７億円超の投資を実行しました。また、Shikoku ブランドを通じたブランディング・販路開拓では８１４先のお客さまを支援してまいりました。

地域の皆さまとともに歩んだ１０年の成果を、ここに改めてご報告します。

記

１．１０年間の主な取組み・成果

発足以来、以下の５つの基本テーマを長期ビジョンに掲げ、取組みを推進してまいりました。

○長期ビジョン（５つの基本テーマ）

テーマ	めざす姿	主な取組み・成果
興　す	四国の産業・事業を興し、経済の活性化と働く場を創出	四国アライアンスキャピタルによる事業承継・再生支援（４２社・累計７７億円超）、ビジネスプランコンテスト計９回開催
活かす	地域資源を四国ブランドとして国内外へ発信	Shikoku ブランドによる四国産品の販路開拓・ブランディング支援（８１４先）
繋げる	域内外交流の活性化	四国の観光ビジョン策定・推進、海外人材受入支援セミナーの共同開催
育　む	四国の未来を担う人財の育成	奨学金返還支援制度の創設（支援対象者１０６名）、小中学生向け金融教育コンテンツの作成・活用
協働する	四国創生を支える経営基盤の構築	四国アライアンス証券の共同活用、TNFD レポートの４行共同開示

詳細については、別紙「四国アライアンス発足１０年レポート」をご参照ください。

２．次の１０年に向けて

人口減少・脱炭素・デジタル化など、四国が直面する課題はより複雑化しています。だからこそ、１行では解決できない課題に４行が連携して取り組む四国アライアンスの存在意義は、これからの１０年においてさらに大きくなると確信しています。

四国アライアンスは、これからも地域の魅力を高め、地域・お客さまとの持続的な成長・発展をめざして、４行が力を合わせて歩んでまいります。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

以　上

阿波銀行　経営統括部
〒770-8601　徳島市西船場町 2-24-1　本部ビル
TEL 088-623-3131（代）　FAX 088-623-7729

四国アライアンス発足10年レポート

阿波銀行　百十四銀行　伊予銀行　四国銀行

四国アライアンス10年間のあゆみ

阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行および四国銀行による四国創生に向けた包括提携「四国アライアンス」
４行が独立経営のもと、健全な競争関係を維持しつつ、４行それぞれの強みやノウハウを結集し、
四国創生に向けこれまで様々な取り組みを実践してきました

2016～
四国創生に向けた包括提携を締結

2016年11月
包括提携「四国アライアンス」発足

2018年01月
「四国アライアンスキャピタル」設立



夢をつないで 新たなるステージへ
CAPITAL
四国アライアンスキャピタル

2017年04月	四国アライアンス証券(旧：いよぎん証券) 共同利用開始
2017年09月	保険「四国の未来」販売開始
2017年10月	シンジケートローンの協働を開始
2018年03月	第1回四国アライアンスビジネスプランコンテストを開催

2020～
「選択と集中」、「持続的な収益力向上」により施策のスピード感をアップ

2020年04月
「Ｓｈｉｋｏｋｕブランド」設立



2020年04月	「マスタープラン2020」策定
2020年04月	コスト削減施策開始
2021年03月	四国ツーリズム創造機構、四経連と共同で「四国の観光ビジョン」を策定
2022年04月	広域周遊観光の推進に向け四国ツーリズム創造機構へ人材派遣を実施
2022年11月	第1回「四国アライアンスフードドライブ」実施

2023～
「4行関連法人の活用」、「サステナビリティへの取組み」に挑戦

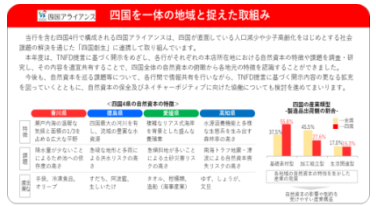
2024年06月
「奨学金返還支援制度」開始



2023年04月	「第3次マスタープラン」策定
2024年04月	小中学生向け金融教育コンテンツ「バンク＆ビルディングゲーム」を作製
2025年05月	４行シンクタンクによる「企業の教育への関わり方に関する調査」の報告書作成
2025年09月	４行SNSを活用した金融犯罪防止対策の啓蒙活動実施
2026年03月	海外人材セミナーを合同開催

2026～
長期ビジョンである5つの基本テーマの施策を具体化し、実現していく

2026年
「TNFDレポート」を共同開示



2026年04月	「第4次マスタープラン」策定
2026年07月	農林水産省による「農山漁村における地域金融機関を中間支援組織とした官民共創マッチング事業」を４行にて採択
2026年11月	四国アライアンス設立10年を迎える

SHIKOKU ALLIANCE
四国アライアンス

四国アライアンスの主な取り組み　-４行関連法人の活用-

４行が経営資源を共同活用することでコスト効率化と専門性の向上を実現し、地域経済の活性化および顧客サービスの高度化を図ることを目的に各社を設立・共同化しました

□　四国アライアンスキャピタルの設立

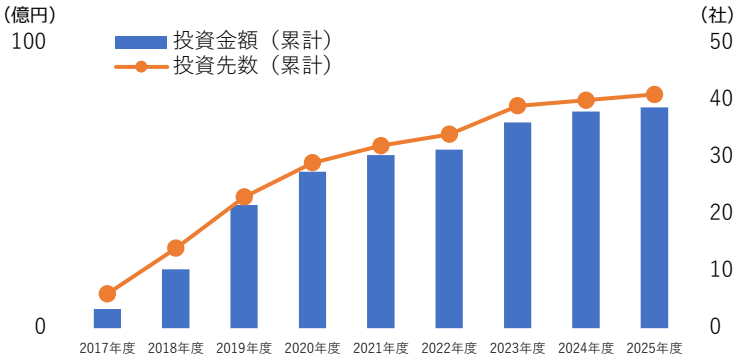
地域企業の事業承継や成長支援を資本面から後押しする投資専門体制を構築することで、後継者不足や経営課題を抱える地域企業の持続的発展と四国経済の活性化を図ることを目的として、2018年1月に設立しました。
これまで3つの事業承継ファンドと再生ファンドを組成し、投資総額77億円超、42社への投資を実行いたしました。また、これまで36名の行員が出向し、事業承継業務における専門的な知識を持つ行員の育成にも注力してまいりました。

業務内容	● 株式・社債等への投資業務 ● 投資事業組合財産の運営管理　等



2018年設立時の様子

■四国アライアンスキャピタル 実績



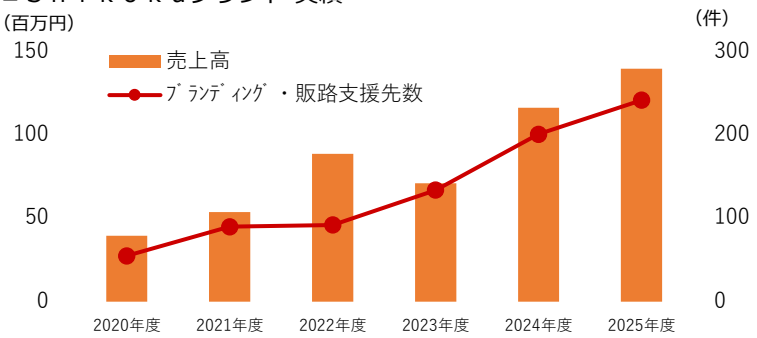
□　Ｓｈｉｋｏｋｕブランドの設立

「豊富な一次産品や観光資源などの魅力に富んだ四国の資源を活かし、付加価値を高め、四国島外に発信していきたい」という４行の思いから生まれた地域商社です。四国の魅力ある資源のブランド化やプロモーション活動をサポートするブランディング事業と、バイヤーニーズに基づいた受注販売や委託販売を行う販路開拓事業、この両事業をワンストップで提供できることを当社の強みとし、これまで814先のブランディング支援・販路開拓支援を行ってまいりました。

業務内容	● ブランディング事業 ● 販路開拓事業　等


2020年設立時の様子

■Ｓｈｉｋｏｋｕブランド 実績



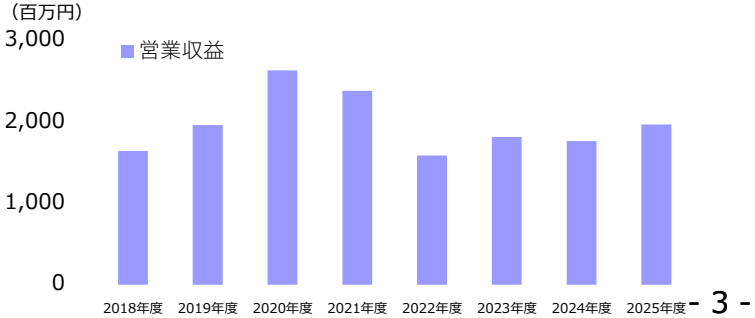
□　四国アライアンス証券の共同活用

2018年4月、社名をいよぎん証券から四国アライアンス証券へと変更し共同活用を開始しました。四国４行が証券サービスを共同することで、単独では対応が困難な高度な資産運用サービスを地域のお客さまに提供し、顧客基盤の強化と収益力の向上を図ってきたことで、毎期安定した営業収益を計上してまいりました。
なお、各行が証券会社との連携を深め、単独での対応体制が整ったことを背景に、共同活用の終了が決定しています。

会社名	四国アライアンス証券株式会社
所在地	愛媛県松山市三番町五丁目10番地1
資本金	30億円
株主構成	株式会社いよぎん ホールディングス100％

当社概要

■四国アライアンス証券 実績



四国アライアンスの主な取り組み　-分科会・研究会での活動-

□　商談会の開催

「食の商談会」「介護マルシェ」や、4回開催した「ハイウェイ大商談会」などを通じ、地域事業者と多様な買い手をつなぐ販路開拓支援に取り組んできました。累計約350社が参加しマッチング機会を提供するとともに、地域企業の挑戦と成長を力強く支援しています。

食の商談会	売り手18社 買い手3社
介護 マルシェ	ブース出展21社 来場者142名
ハイウェイ 大商談会	売り手198社 買い手107社

□　観光振興策

一般社団法人四国ツーリズム創造機構及び四国経済連合会とともに「四国の観光ビジョン」を策定しています。「四国～Shikoku～」ブランドのさらなる認知度向上を図るとともに、地域住民・観光客・地域経済のすべてが潤う「三方よし（住んでよし、訪れてよし、商いもよし）」の実現を加速させてまいります。



2026年3月改定時の様子

□　ビジネスプランコンテスト

2018年より四国地域における起業・創業意識の向上および独創的なビジネスプランをもつ起業家の発掘・事業化支援を目的とした「ビジネスプランコンテスト」を開催しています。これまで計9回のビジネスプランコンテストを開催してまいりました。

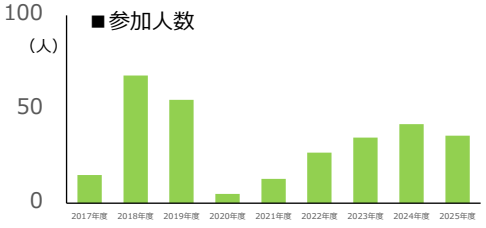
出場者数	76先



ビジネスプランコンテストの様子

□　人材育成

2017年より４行合同研修や各種研修の相互参加により、相互の優れたノウハウを共有することで４行全体の人材力を高めています。2026年には「女性リーダー研修会」「ネクストリーダー研修会」など合同研修を行いました。



□　奨学金返還支援制度

2024年に若手人材の四国4県での定着化を目的とした「奨学金返還支援制度」を創設しました。奨学金を返還している若手従業員に対し、1人あたり最大50万円を支援しています。今後は支援対象者のさらなる拡大を図り、より多くの若手人材が四国で安心して働き続けられる環境づくりを推進してまいります。

賛同企業数	260社（2026年9月時点）
支援対象者数	106名（2024～2025年度の2年間）



□　TNFD提言に基づく取組み

2025年より「TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）」についての４行共同調査・研究を行っています。四国を一体の地域と捉え、各行がそれぞれの地域の自然資本の特徴や課題を調査・研究し、四国全体の自然資本を俯瞰することで各地元の特徴を認識することができました。今後も、各行間で情報共有を行いながら、自然資本及びネイチャーポジティブに向けた協働についても検討を進めてまいります。

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
特徴	四国最大の川(吉野川)を有し、流域の豊富な水資源	瀬戸内海の温暖な気候と国土の1/3を占める広大な平野	複雑なリアス式海岸を背景とした盛んな養殖業	水源涵養機能と多様な生態系を生み出す森林率の高さ
課題	急峻な地形と多雨による洪水リスクの高さ	降水量が少ないことによるため池への依存度の高さ	急傾斜地が多いことによる土砂災害リスクの高さ	南海トラフ地震・津波による自然資本損失リスクの高さ
主な産業	すだち、鳴門わかめ、LED	手袋、冷凍食品、オリーブ	タオル、柑橘類、造船（海事産業）	ゆず、しょうが、かつお

四国4県の自然資本の特徴

□　バンク＆ビルディングゲーム

小中学生が楽しく金融教育を学ぶための４行共同コンテンツ「バンク＆ビルディングゲーム」を作製しました。小中学生が経営者となって会社を経営する過程で、預金や借入についての理解を深めながら四国の特色を学ぶことができ、各行が実施する金融教育授業やキッズセミナー等で活用しています。

金融教育等での使用回数	142回



□　海外人材の受入支援

深刻化する四国島内の労働力不足に対応するため、2026年に企業の海外人材の活用マインドの醸成を促す「海外人材受入支援セミナー」を共同開催しました。
今後も４行で連携し、海外人材の定着や継続的な受入に向けた取組みを行ってまいります。

セミナー参加者数	199人（全4回合計）

